

重

点

戦

略

## 地域が輝く「農林水産業活力向上戦略」

山口県は三方を海に開かれ、中山間地域を有するなど、多様な資源に恵まれています。

多様な地域資源を活かす新たな視点で、観光産業と連携した取組やアジアに向けた輸出拡大を進め、農林水産業の活力向上を図ります。

### プロジェクト

◇アジアに向けた県産農林水産物の輸出拡大

◇県産農林水産物の活用による食の魅力向上(再掲)

プロジェクト	No	<b>アジアに向けた県産農林水産物の輸出拡大</b>
	1	

目標	アジアにおける輸出販売品数拡大と年間取扱店舗の確保 ・輸出販売品数 4年間(平成25～28年度)で20商品(平成28年度)
----	--

**現状と課題**

- 農業団体等で構成する協議会が台湾へ農産物・農産加工品を輸出
- アジアへの輸出実績はあるものの、安定した輸出ルートが未確立
- 継続的な輸出のためには、輸出相手国に精通した商社等(パートナー)と連携した流通販売対策や農水産物の検疫基準の緩和が必要

**取組方針**

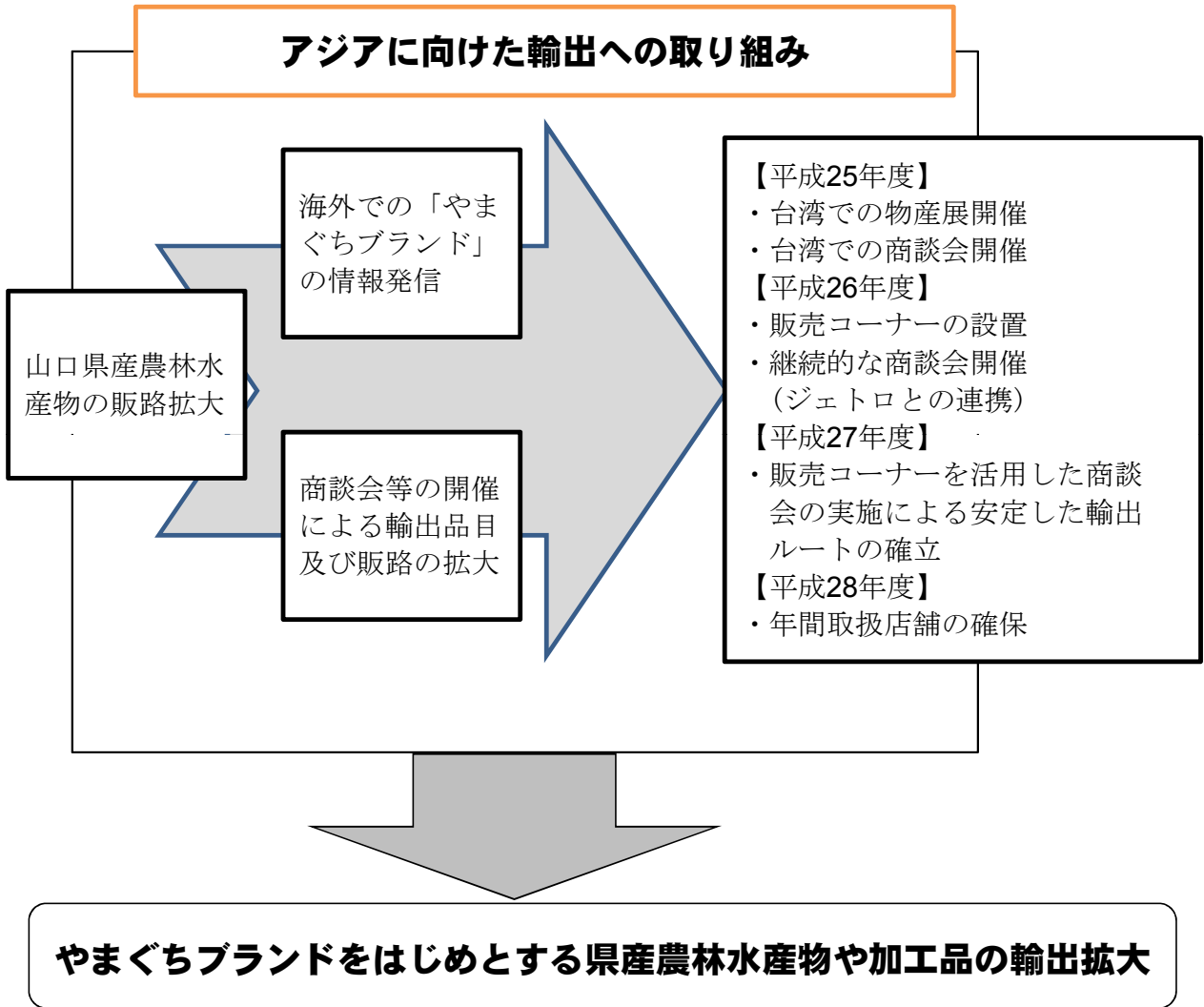
- 台湾をはじめとしたアジアにおける県産農林水産物の輸出拡大を図ります。
- 輸出相手国に対し、検疫基準の緩和を働きかけるよう国に要望します。

**具体的な取組**

年次目標	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	
年次目標	農林水産物フェア開催	販売コーナー常設化	自立した輸出ルート確立	年間取扱店舗確保	
取組	<input type="checkbox"/> アジア(主に台湾)における物産展開催 <input type="checkbox"/> 台湾に向けた自立した輸出ルートの確立 ・バイヤーを本県に招聘し、県内視察と商談会の開催 ・アジア輸出に精通した輸出パートナーの開拓 <input type="checkbox"/> 台湾における販売コーナーの常設化 <input type="checkbox"/> 国と連携した輸出相手国における検疫基準緩和の実現				
工程表	取組	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
	アジアにおけるやまぐち物産展の開催	● 台湾での物産展開催(H25年度3回)	● 継続的な物産展開催	→	→
	自立した輸出ルートの確立	● 台湾での商談会開催	● 継続的な招聘・商談会開催	→	→
	・バイヤー招聘・商談会の開催		● 台湾向け輸出パートナーの確保	● アジア向け輸出パートナーの確保	
	・輸出パートナーの確保			● 台湾向け輸出ルート確立	● アジア向け輸出ルート確立

工程表	販売コーナーの設置		● 台湾高級スーパーでの販売コーナー設置		● 台湾での年間取扱店舗の確保
	検疫基準緩和の実現		● 国への要望	→	

**事業の概要**



プロジェクト	No	<b>県産農林水産物の活用による食の魅力向上 (再掲)</b>
	2	

目標	やまぐちブランド登録商品増加と観光分野での県産農林水産物の活用拡大 ・やまぐちブランド登録数 4年間(平成25～28年度)で100商品以上
----	--

### 現状と課題

- 観光団体と連携して、県産農水産物やその加工品の試食会やモニターツアー等を開催
- 味や品質に優れ全国に誇れる「やまぐちブランド」の創設(平成25年4月)
- 魅力のある食材があるものの、生産量が少なく、旅館等での利用が不十分
- 観光素材として期待される「長州黒かしわ」「きじはた」の生産拡大と「ふぐ」「あんこう」等の全国的に知名度の高い食材の旅館等への利用拡大が課題
- 本県水産業の拠点である下関漁港施設の老朽化と機能低下

### 取組方針

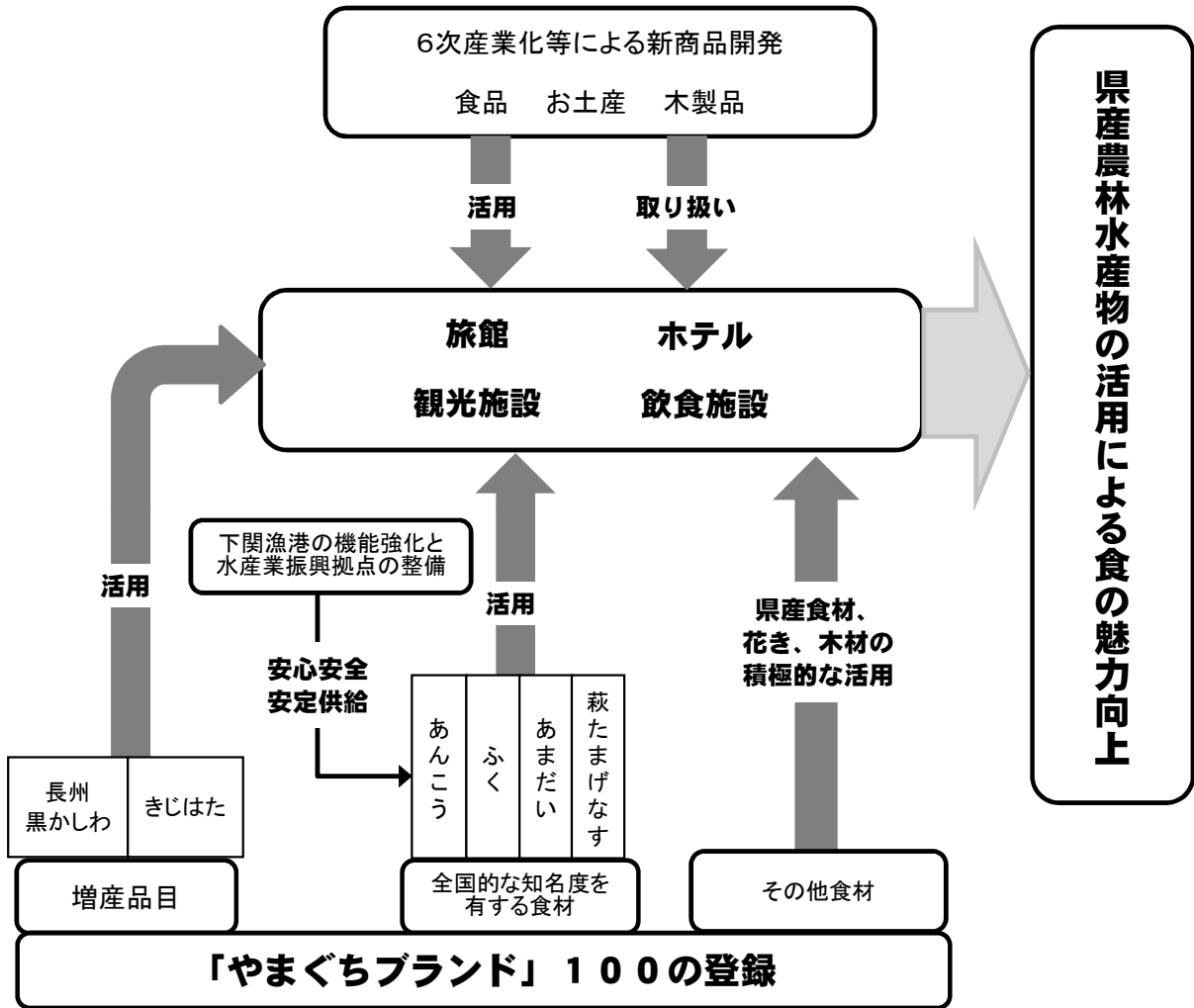
- やまぐちブランドの登録数を拡大し、観光分野での活用を促進します。
- 「長州黒かしわ」「きじはた」の、安定供給に向けて、増産に取り組みます。
- ふぐ、あんこう等の知名度の高い食材を観光素材に位置付け、積極的に活用します。
- 下関漁港の機能を強化し、高度に衛生管理された質の高い水産物の安定供給を図ります。
- 県産木材の活用や新たな食材開拓を通じた6次産業化等による新商品の開発に取り組みます。

### 具体的な取組

年次目標	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	
年次目標	やまぐちブランド 40商品	やまぐちブランド 60商品	やまぐちブランド 80商品	やまぐちブランド 100商品	
取組	<input type="checkbox"/> 味や品質に優れる「やまぐちブランド」の育成・登録 <input type="checkbox"/> 「長州黒かしわ」や「きじはた」など、観光素材として魅力のある食材の増産 <input type="checkbox"/> 「ふぐ」や「あんこう」など、全国的知名度の高い食材を観光素材として活用 <input type="checkbox"/> 下関漁港の機能強化と水産業振興拠点の整備による水産物の安定供給 <input type="checkbox"/> 6次産業化等開発商品のおもてなし料理やお土産での活用促進				
工程表	取組	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
	「やまぐちブランド」の育成・登録	● やまぐちブランドの創設	やまぐちブランドの育成・登録		● 登録数100商品
	「長州黒かしわ」の増産		長州黒かしわの増産体制整備		→
	「きじはた」の増産	● きじはた資源管理体制の確立	きじはた稚魚の積極的な放流 (年間10万尾)	長州黒かしわの安定供給 (平成30年度 年間20万羽)	● 年間8万羽
全国的知名度の高い食材の活用			取扱量全国1位ふぐの活用		→
			下関漁港水揚量全国1位あんこうの活用		→
			水揚量全国1位あまだいの活用		→
			萩たまげなすの活用		→

工程表	下関漁港の機能強化と水産業振興拠点の整備	<下関漁港の機能強化> ● 全体計画の策定	高度衛生管理型荷捌き所、耐震強化岸壁整備	
		<水産業振興拠点の整備> ● 要望		● 整備
	6次産業化等新商品の開発促進		6次産業化等による新商品開発	

事業の概要



### 長州黒かしわ

天然記念物の黒柏鶏を元に、地域の特色を出し、肉用鶏として経済性・食味の良さにこだわり誕生した山口県産の地鶏。適度な歯ごたえがあり、噛めばかむほど味が出てくる、最高の逸品。



### きじはた

漁獲量が少ないことから「幻の高級魚」と呼ばれる、山口県沿岸域で獲れる魚。山口県では、新たな県のブランド魚にするため、種苗生産や放流、放流後の稚魚の保護などに取り組んでいます。

